

伝えたい 残したい

# 20世紀 のうしく

問 文化芸術課(中央生涯学習センター内) ☎871-2301

## 八幡神社 秋の例祭 奉納相撲(東狹穴町)

平成3年9月撮影

うしく写真クラブ「みち」所蔵



明治・大正・昭和の  
「昔のうしく」の写真を募集しています。

写真は、平成3年9月22日に撮影された東狹穴町八幡神社・秋の例祭での奉納相撲の様子です。例祭は、毎年旧暦8月15日の仲秋の名月(今年9月27日)に行われ、当日は神社の拝殿に集落の各戸代表が集まり、集落の安全と繁栄を祈願し神事を行います。神事後には、境内で相撲と神社

の両端に的を立てて篠竹の矢で射る「流鏑馬」が奉納されます。昭和30年代までは本格的な相撲が行われましたが、現在では奉納のために形だけのものが行われます。相撲の後には、土俵中央に徳俵を積み上げ、その上に区長や来賓などが次々に立ち、行司の掛け声で胴上げします。



## 牛久の巨樹

問 都市計画課 ☎内線2522

### 奥原町鹿嶋大神宮のムクノキ(2本)



市民の木No.24



市民の木No.25

国道408号を成田方面に向かつて進み、乙戸川と小野川の合流点、奥原大橋の近くにある鹿嶋大神宮の社殿の前に市民の木No.24・25は並んで立っています。2006年7月の測定では、「No.24」は樹

高19・2m、幹周3・10m、最大樹冠幅25・9m、「No.25」は樹高22・1m、幹周2・92m、最大樹冠幅18・0mと記録されています。  
ムクノキの花は4〜5月、雌雄花序が別々に咲き、雄花は新しい枝の基部に集散花序につきます。果実は核果で広卵形、はじめ緑色で秋に紫黒色に熟します。鳥が好んで食べ散布するので、庭の植え込みや木立の中にも若木を見つけることができます。  
【資料提供】NPO法人うしく里山の会 樹木リサーチ(文章：秋山侃・写真：戸塚昌宏)

「牛久の巨樹」P84〜85掲載 ※お求めは都市計画課まで(1,200円)

## 文芸さろん | 長月 |

矢車草心やすらぐ夏が来る  
風薫る河童留守して牛久沼  
夏休みアット言う間に秋の風  
母逝きて見上げる空に雲の峰  
咲き誇る水蓮の池蝶も舞い遊ぶ  
夕陽さし路面に残すかわい絵  
にがうりのパステルカラーに  
ひまわりは咲きそろいきて輝けり  
じじばば負けず光かがやく  
熟れ落ちて

枝さん  
塚本さん  
小山さん  
あおたん  
岡村さん  
ヒロシ  
堀さん  
高橋さん

【作品募集】イラストや俳句、川柳、短歌など

【あて先】〒300-1292牛久市中央3-1-1

「広報うしく文芸さろん」係

FAX: 873-2512

E-mail: shimin@city.ushiku.ibaraki.jp

【記載事項】作品、氏名、電話番号、匿名希望の方はその旨(ペンネームもOK)